



令和7年6月27日発行

校長 鈴木 和彦

## 横尾中学校 学校だより

校訓「自立」<学校スローガン:「Challenge」~I can do it.~>

### 【被爆体験講話（家族・交流証言講話）】

6月23日（月）に原田小鈴様をお迎えし、被爆体験講話を開催しました。原田様は、2011年より、祖父である山口 彊様の「被爆体験」と「非核平和の継承」を紙芝居やドキュメンタリー映像、著作の朗読を用いて、次の世代に語り継いでいらっしゃる被爆三世の方です。

現在も日本国内や海外で継承活動を行っており、生徒たちにも核の恐ろしさや平和を語り継ぐ大切さを切々と話をされていました。

講話を聴いての生徒感想文を紹介します。



#### 生徒感想文（一部紹介）

○二重被爆の山口さんの紙芝居は想像するだけでも具合が悪くなりそうぐらい悲惨で残酷な話でした。原田さんとアリさんのように日本側とアメリカ側の孫同士がお互いの話や考えを伝え合い、平和活動につながっているのがすごいと思いました。種族が違ったり、言語やマナーが違ったりしても、話し合いによって解決できることを証明されていて、本当に立派な方々だなと思いました。私たちも学んだことを後の世代につなげていこうと思います。

○被爆体験講話を聴いてあらためて考えが深まりました。特に、心に残ったのは二重被爆者の体験を次世代に伝えようとしているところが心に残りました。

○講話を聴いて私は、特に被爆者が差別されていたせいで結婚ができなかったり、手帳をもらうこともできなかったりして生活がしにくくなっていたことが心に残りました。

### 【ウォークラリーのお手伝い】

6月22日（日）に横尾小学校のウォークラリーが実施されました。本校からは、昨年度に引き続きサッカー部員が参加し、レクリエーションのサポートを行い、小学生を楽しませていました。また、吹奏楽部員は表彰式の時に得賞歌を演奏しました。

最後にサッカー部と吹奏楽部は閉会式で部の紹介をしました。

サッカー部と吹奏楽部のみなさん、ありがとうございました。

## 【1年生放射線学習】

1年生が6月12日(木)に出前講座を受けました。長崎大学原爆後障害医療研究所の助教 西 弘大 様に講話をしていただきました。

ねらいは、偏見や思い込みに惑わされず、「放射線を正しく怖がる」よくなれることを目標にして、放射線の性質や特徴をイラストとQ&A形式のスライドを使って説明しました。身近な実例を掲示して放射線の「こわい面」と「こわくない面」を比べながら放射線に対する正しい知識を学ぶ姿がありました。



## 【3年生平和学習会】

今年度も長崎大学核兵器廃絶研究センターの准教授 中村桂子 様を講師として3回にわたって学習を深める計画をしています。

まず、その1回目が6月17日(火)に行われました。この日は、「核兵器の問題について考えてみよう」をテーマとし、生徒たちは一生懸命学習していました。その授業から生徒たちは中村先生に聞きたいことを考えました。質問した内容の一部を紹介します。

- 老朽化した核弾頭のリサイクル方法や解体方法がありますか。
- なぜ核弾頭をつくることになったのですか。
- 核弾頭一個あたりの維持費はどれくらいですか。 等々

上記の質問は6月25日(水)の2回目の授業で中村先生が一つずつ回答しました。



3回目は7月1日(火)に「模擬国際会議」を行います。会議をとおして、中学生としてできることや平和のための日本の役割などを学んでいきます。3回目の様子は次回の学校だよりでお知らせします。